

❖まず「名詞」ありき

私たちが新しい言語を学ぶとき、まず何からとりかかることが必要だと感じるのでしょうか？ 基本的なコミュニケーションを満たすために何が必要なのでしょう？

私たちが、パプアニューギニアのジャングルで遭難したとしましょう。現地の人たちと意思を伝え合って生き延びるために、彼らのことばを学ばなければならないとしたら、私たちはまず「名詞」を覚えようとするのではないかと思います。「食べる」より先に「食べ物」を覚え、「飲む」より先に「水」を、「燃える」より先に「火」や「火事」を、そして「地面を這う」より先に「ヘビ」を覚えるといった具合にです。

もちろん、名詞を優先的に覚える一つの理由は、名詞（ここでは基本的な具体名詞に限ります）が他の品詞よりも簡単に識別がつき、すぐに理解できるからです。ものを指さして、困っているのだという表情を浮かべれば、それをその土地のことばで何と言うかたずねることができます。同じように、彼らにとっても、外国人にことばを教えるには、身の回りのものの名前を教えるほうが簡単です。

だとしたら、**外国語を学ぶさいは、まず名詞中心に文法を覚えてみてはどうでしょう？** いま現在、どう見ても、私たちはこのようなやり方をしていません。やっていることは正反対です。動詞とそのパターン（文型）を覚え、文の中の他の部分をこの前後にあてはめていきます。この「他の部分」とは、おおよそ、名詞、次に形容詞、その次が副詞であり、そして前置詞などのいろんな小さな単語がその後続きます。

❖名詞中心に複雑なことばを作り上げていく

いままでみなさんは、次のように英語を勉強してきたと思います。

まず、「write = 書く」と覚えてから……

write with a pen (ペンで書く)

write on a piece of paper (一枚の紙の上に書く)

write a letter to my friend (友達に手紙を書く)

などと、動詞を中心にして語彙を広げていく。

しかし、このように覚える代わりに、“pen”という、このたった一語からスタートして、この単語をフレーズや文の核として使っていくこともできます。

pen は名詞ですから、何かの冠詞や数詞をそこに加えなければならないことは、おそらく誰が見てもわかるでしょう。例えば、次のような語が前に付くことになります。

a, the, some, any, one, two, etc.

これが最初のステップになります。もちろん、some や two のような語を付ければ、pen 自体を複数形 (pens) に変えることになります。

この他にどんなものを付けることができるのでしょうか？ いろいろありますが、まず考えられるのは、その pen がどんな種類のペンなのかわかるような語を付けることです。例えば、black, red, expensive, old-fashioned, broken などです。